

香川県金融経済概況

1. 概況

- 香川県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで、基調としては持ち直しに向かっているが、一部に供給制約による下押しの影響がみられる。

すなわち、設備投資は下げ止まっている。個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで、持ち直しの動きがみられる。住宅投資は持ち直している。この間、公共投資は減少している。こうした中、企業の生産は持ち直しのペースが鈍化している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、下げ止まっている。

9月短観における設備投資（全産業）をみると、2021年度は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで、持ち直しの動きがみられる。

大型小売店の売上は、持ち直しの動きがみられる。

乗用車販売は、減少している。

家電販売は、底堅く推移している。

住宅投資は、持ち直している。

公共投資は、減少している。

- 企業の生産は、持ち直しのペースが鈍化している。

化学は、振れを伴いつつも、高めの水準で推移している。窯業・土石は、持ち直している。輸送機械は、持ち直しの動きがみられる。電気機械は、増加の動きが一服している。汎用・生産用機械、金属製品は、横ばい圏内の動きとなっている。食料品は、振れを伴いつつも、横ばい圏内の動きとなっている。非鉄金属は、下げ止まっている。

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。
- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、0%台前半のマイナスとなっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（9月）は、前月に比べ前年比プラス幅が幾分拡大した。
貸出約定平均金利（8月）は、前月比低下した。
- 預金（9月）は、前月に比べ前年比プラス幅が縮小した。
- 倒産および信用保証協会の代位弁済は、低水準となっている。

以 上